

# 教育研究業績書

2023年10月23日

所属：看護学科

資格：講師

氏名：古川 亜衣美

研究分野	研究内容のキーワード
看護教育学, 基礎看護学	新人教育, 看護基礎教育,
学位	最終学歴
博士(看護学)	大阪府立大学大学院看護学研究科博士後期課程

## 教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. 生活援助技術演習の授業進行、デモンストレーションの実施	2020年現在	生活援助技術演習時の授業進行、身だしなみや出欠確認、ほぼすべての演習で、デモンストレーションを実施した。
2. 生活援助技術演習における実技テスト作成と採点	2019年9月現在	科目責任者とともに、生活援助技術の実技テストを作成した。また、実技テスト当日は採点を担当した。
3. 基礎看護学実習における運営補助	2019年8月2019年9月	基礎看護学実習Ⅱにおいては、多数の他領域の実習助教が実習担当教員となるため、特にオンライン実習時の教員サポートを担当した。
4. 基礎看護学実習Ⅱにおける実習要項作成補助	2019年4月現在	科目責任者とともに、基礎看護学実習Ⅱの実習要項を作成した。目的・目標の修正や基礎看護学実習Ⅱのスケジュール作成、実習グループ作成などを担当した。
5. 基礎看護学実習Ⅱにおける学内演習用模擬患者事例および、模範例作成	2019年4月	COVID-19の流行に伴い、基礎看護学実習Ⅱ病院実習が中止となったことから、科目責任者とともに、学内演習用の模擬患者事例を設定して実習を展開した。主に、看護過程展開における患者基礎情報、アセスメントや関連図などの模範例作成を担当した。
6. 学生の基礎看護技術自己学習の支援	2019年～現在	生活技術演習における学生の自己学習の際、実習室使用可能日のスケジュール提示や、技術の確認、質問への回答、デモンストレーションの実施など、学生の学習が深まるように関わった。
7. 生活援助技術の講義	2017年9月～現在	日常生活援助技術の清潔に関する講義を担当した。
8. 基礎看護学領域における講義・演習での課題レポートの作成と評価	2017年9月～現在	基礎看護学領域における講義・演習（基礎看護技術、ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメント、看護過程展開論など）の課題レポート（事前・事後）の作成や評価を行った。
9. 基礎看護学実習における担当学生指導	2014年2月～現在	基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、統合実習の実習グループ指導を担当した。病院実習時の看護技術支援や看護過程展開における記録指導などを行い、学生の理解度や進捗状況に合わせて支援した。

<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. オンライン教材の作成	2020年9月～現在	
2. 看護過程展開論における模範例資料	2020年4月	
3. 生活援助技術演習における学生配布資料	2019年9月	
4. 生活援助技術演習における講義資料	2017年10月～現在	
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

## 職務上の実績に関する事項

事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 保健師	2011年4月28日	登録番号 194171
2. 看護師	2003年4月25日	登録番号 1241187
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

## 研究業績等に関する事項

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 新人期看護師におけるメンタリング機能とその関連要因の検討	共	2017年9月	大阪府立大学大学院看護学研究科	本研究の目的は、新人期看護師におけるメンタリング機能尺度を開発し、メンタリング機能とその関連要因について検討することである。文献的考察に基づき、新人期看護師におけるメンタリング機能は、職業的アイデンティティと職務満足に影響するという概念枠組みを構築した。研究を、1. 新人期看護師におけるメンタリング機能に関する内容の抽出、2. 新人期看護師におけるメンタリング機能尺度項目の表面妥当性・内容妥当性の検討、3. 新人期看護師におけるメンタリング機能尺度の内容妥当性(1-CVI)の検討、4. 新人期看護師におけるメンタリング機能尺度の信頼性・妥当性の検討、5. 新人期看護師におけるメンタリング機能とその関連要因の検討の5段階で設定した。新人期看護師におけるメンタリング機能尺度は、構成概念妥当性、基準関連妥当性、信頼性(内的一貫性、安定性)を確保しているものと考えられ、新人期看護師におけるメンタリング機能は職務満足に影響を及ぼすことが確認された。新人期看護師の育成に関し、メンタリング機能に着目しながら支援体制を構築することで職務満足が高まれば、今後、早期離職防止の一助として期待できると考えられた。
2. 救急領域に勤務する新人期看護師の技能習得に影響を及ぼす経験－実践共同体における相互作用に焦点をあてて－	単	2013年3月	大阪府立大学大学院看護学研究科	本研究の目的は、救急領域に勤務する新人期看護師の技能習得に影響を及ぼす経験のプロセスを、実践共同体における相互作用に焦点をあて明らかにすることである。救急領域に新卒時から継続して勤務しており、看護基礎教育前後で職業経験のない卒業4年目の看護師15名に対し半構成的面接を行い、修正版Grounded theory approachで分析を行った。救急領域に勤務する新人期看護師は、恐怖や技能不足から《救急の場での努力が空回りする》が、〈エネルギーを獲得する〉ことと〈自己を肯定する〉ことで空回りから脱出し、〈自信を獲得する〉ことで《救急領域の一員としての自覚が芽生える》ようになっていた。そして《救急領域での視野が拡大する》経験で、技能習得に能動性が生まれていた。救急領域での新人期看護師に対する看護技術教育は、相互作用が積極的にもたらされる実践共同体づくりが重要であると示唆された。
3 学術論文				
1. 新人期看護師におけるメンタリング機能の検討(査読付き)	共	2022年7月から	日本看護学教育学会誌、32(1)	【目的】 卒業3年未満の新人期看護師がメンターから受けているメンタリング機能について明らかにする。 【方法】 メンターがいる新人期看護師17名を対象に、半構成的面接法によりデータを収集し、質的記述的分析を用いてデータを抽象化し抽出した。 【結果】 研究協力者の経験年数は卒業1年目4名、2年目7名、3年目6名であった。新人期看護師のメンタリング機能として【模範】【指導】【知識獲得の促進】【助言】【フィードバック】【褒賞】【承認】【励まし】【人間関係の調整】【保護】【援護】【融和】【関心】【傾聴】【社会化の促進】の15の機能が抽出された。 【考察】 新人期看護師におけるメンタリング機能は、先輩看護師が新人期看護師に関心を寄せ、高度な看護実践の模範を示し、指導することなどであることが具体的に明らかとなった。新人期看護師がこれらのメンタリング機能を十分に発揮できるような、ともに実践させる場づくりの必要性が示唆された。
2. 看護学生のクリティカルシンキングが看護実践力へ及ぼす影響(査読付き)	共	2015年3月	大阪府立大学看護学部紀要、21、p13-20.	本研究の目的は、看護学生のクリティカルシンキングが看護実践力へ及ぼす影響を明らかにすることである。看護学生(大学4年次生と専門学校3年次生)を対象に自記式質問紙調査を行い、525名から有効回答を得た。看護実践力を従属変数、クリティカルシンキングを独立変数として重回帰分析を行った。看護実践力には「論理的に議論を組み立てることができる( $\beta = .218$ )」「他の人が出した優れた主張や解決案を受け入れる( $\beta = .161$ )」「他の人の考えを尊重することができる( $\beta = .150$ )」「根拠に基づいた行動をとる( $\beta = .122$ )」「新しいものにチャレンジするのが好きである( $\beta = .104$ )」「一つのやり方で問題が解決しない時には、いろいろなやり方を試みる( $\beta = .101$ )」「問題を解決することに一所懸命になる( $\beta = .090$ )」が有意に影響し

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
3. 救急領域に勤務する 新人期看護師の技能 習得に影響を及ぼす 経験－実践共同体に おける相互作用に焦 点をあてて－(査読付 き)	共	2014年6月	日本看護研究学会 雑誌. 37(2)p1- 11.	ていた(調整済みR2=.363)。 本研究の目的は、救急領域に勤務する新人期看護師の技能習得に影響を及ぼす経験のプロセスを、実践共同体における相互作用に焦点をあて明らかにすることである。救急領域に新卒時から継続して勤務しており、看護基礎教育前後で職業経験のない卒後4年目の看護師15名に対し半構成的面接を行い、修正版Grounded theory approachで分析を行った。救急領域に勤務する新人期看護師は、恐怖や技能不足から《救急の場での努力が空回りする》が、〈エネルギーを獲得する〉ことと〈自己を肯定する〉ことで空回りから脱出し、〈自信を獲得する〉ことで《救急領域の一員としての自覚が芽生える》ようになっていた。そして《救急領域での視野が拡大する》経験で、技能習得に能動性が生まれていた。救急領域での新人期看護師に対する看護技術教育は、相互作用が積極的にもたらされる実践共同体づくりが重要であると示唆された。
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
<b>2. 学会発表</b>				
1. 新人期看護師におけるメンタリング機能が職業的アイデンティティと職務満足に及ぼす影響	共	2019年11月	第39回日本看護科学学会学術集会	
2. 新人期看護師のメンタリング機能尺度の信頼性・妥当性の検討	共	2019年8月	第45回日本看護研究学会学術集会	
3. 新人期看護師におけるメンタリング機能尺度の内容妥当性の検討	共	2018年3月	第28回日本医学看護学教育学会学術学会	
4. Mentoring Functions for Novice Nurses	共	2016年3月	the 19th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)	
5. The effect of critical thinking on emotional labor in student nurses	共	2014年5月	35th International Association for Human Caring Conference	
6. 実習指導者のクリティカルシンキングと看護実践力の関連	共	2014年3月	第24回医学看護学教育学会学術集会	
7. Effects of nursing students' critical thinking on their clinical Competence	共	2014年2月	the 17th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)	
8. The effect of critical thinking on emotional labor in nurses	共	2014年2月	the 17th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)	
9. 救急領域に勤務する新人期看護師の技能習得に影響を及ぼす経験－実践共同体における相互作用に焦点をあてて－	共	2013年8月	日本看護学教育学会第23回学術集会	
10. 危機状態にある救		2006年3月	第93回日本救急医	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
急患者家族への看護 —家族のケア参加への看護介入を実施して			学会近畿地方会	
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1.. 新入期看護師の看護実践能力習得-正統的周辺参加論によるモデル化-	単	2020年4月現在	日本学術振興会	令和2年度科学研究費助成事業 若手研究（研究代表者）
<b>学会及び社会における活動等</b>				
年月日		事項		